

地域支えあうまちづくり懇談会 アンケート結果

【2018.8.28（火）石部まちづくりセンター】

問1 ご参加いただいたあなたの役職は。

① 区・まちづくり協議会	5人
② 民生委員児童委員	—
③ 健康推進員	1人
④ 各種団体役員	1人
⑤ 市民	—
⑥ 市内事業所	4人
⑦ その他	2人
計	13人

問2 懇談会に参加しての感想や今後、地域で支えあうまちづくりを推進していくうえで必要なことをお書きください。

- ・石部学区では自治会の加入率が悪い。また昔のように関わりをもつ事が嫌な人も多い。そんな中でも豆講やサロンを開いて少しでも関わりをもち、見守っていくことが大事だと思う。
- ・少子高齢化が進む中、地域のみなさんが住みやすいまちと思えるような取り組みをしてほしい。
- ・意識づけのためにもっと参加者を増やすことが重要。
- ・自由に解放されて利用できる施設が必要。
- ・懇談会の参加者が少ないように思う。
- ・会議で出た内容をどのようにみんなに知らせるのか、ただ消化するだけの会議であっては意味がない。
- ・地域でのつながりづくり、年齢別、年齢を問わず、いろいろな角度からの結びつきづくりが大切だと思いました。
- ・地域での高齢者を支援できるリーダー養成を市が目的をもって行わないと各区やまち協任せでは無理がある。
- ・懇談会の参加者が回数を重ねるごとに少なくなっているのが残念である。いろんな人の意見をもっと聞きたいし、やはりまちづくりをどうしていけばいいのかという自主性がこの地域には欠けていると思います。(まだまだ他人事)
- ・課題が多くあるが、まずできることから実施していきたい。
- ・みなさんから出た意見や実施されていることを参考に、地域で支えあうまちづくりに取り組んでいきたい。

- ・人とのつながりは声かけから始まるので、日常的にできるように努めたい。
- ・地域ごとに課題の違いは多少あるが、つながりや集う場といったニーズが高いことがよくわかった。実際にどのように進めていくか各所を越えて連携していくことが大切だと考える。
- ・2つの地域に出席させていただきました。地区によって考え方や望んでいる事に違いがあることを認識した。もっと多くの人に参加できやすい方法を考えられたら、案もたくさん出るはず。
- ・だんだん参加者が減ったことが残念でしたが、地域の人と顔つなぎができてよかった。
- ・参加者が少なくて残念でしたが、いろんな実際の地域のことが聞けてよかった。
- ・とかくサービスの中で何とかせねばと思いがちな毎日の中で、今日のように地域の方や市・社協とゆっくりと話し合う場が持てたことは大きな学びとなりました。顔を合わせて会話をすることから始まると思います。
- ・地域の方々とお会いする機会がもててよかった。
- ・地域の社会資源を知ることができてよかった。
- ・高齢者を支える＝（支えようとする）子どもを育てることという言葉が印象的でした。かつ相互の世代のために良い考え方と感じました。